

社会人基礎力協議会News



第11号 2022年11月28日発行

1 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ エントリー受付開始！

グランプリ委員会

2022年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」へのエントリーを開始しました。昨年度まで2年間、試行的にオンライン開催を行ってまいりましたが、地域に寄らず参加しやすい利点もあり、参加チームが増え、昨年度は計画した6地区の全てで予選大会を開催することができました。また地区予選大会毎の参加チーム数の差が大きい場合には、参加の少ない地区へ移動していただくことで、チーム数の格差の少ない予選大会を運営できました。今年度もオンラインで開催いたします。

大会趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

申し込み方法と全国決勝大会までの流れ

出場エントリーはWEB申請です。エントリー内容の審査を行い、審査結果についてメールにてご連絡します。なお、予選大会の地区は、参加チーム数の調整により、地区予選大会の合同開催、またはエントリーした地区とは異なる地区への参加をお願いする場合がありますので、ご了承ください。各地区予選大会から代表1チーム（または2チーム）が2023年3月に開催する全国決勝大会に進出します。

応募スケジュール

日程	内容	備考
2022年11月1日（火）	エントリー（応募）受付開始	Webフォーム受付
2023年1月11日（水）	エントリー（応募）受付終了	
2023年1月18日（水）	参加決定チームへの通知	



グランプリ情報
詳細はこちら

各地区予選大会・全国決勝大会スケジュール

日程	内容	備考
2023年2月18日（土）	北海道地区予選大会	オンライン開催
2023年2月21日（火）	東北・関東地区予選大会	オンライン開催
2023年2月12日（日）	中部地区予選大会	オンライン開催
2023年2月11日（土）	近畿地区予選大会	オンライン開催
2023年2月19日（日）	中国・四国地区予選大会	オンライン開催
2023年2月23日（木）	九州・沖縄地区予選大会	オンライン開催
2023年3月15日（水）	全国決勝大会	オンライン開催



オンライン開催
発表者 Webex
一般観覧者 YouTube

大会はWebexを活用してオンライン開催します

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から広く普及したリモート手法ですが、本大会運営の観点では、参加者の移動負担の軽減やWEB配信、見逃し配信による観覧者の増加など多くの利点があり、今年も積極的にオンライン開催することにしました。昨年に引き続き、オンラインの利点を生かした地区予選大会の参加チーム数の格差の是正に努めます。参加チームの発表者には、リモート参加にWebexを使用します。発表者以外の関係者および、一般の観覧者については、YouTubeのライブ配信を行う計画です。

「社会人基礎力」の育成・成長の審査について評価する視点を見直しました

社会人基礎力育成グランプリは、大会趣旨で述べているように、大学等での取り組みによって社会人基礎力が著しく成長した学生チームを表彰しています。その根底には、本大会を通して、社会人基礎力育成に関する効果的な授業等の取り組みを広く周知する目的があります。これまでの審査内容は社会人基礎力が「どれだけ成長したか」としていたためか、プレゼンテーションでは学生たちの成長の結果が強調される傾向が目立ちました。そこで、今回から成長の度合いに加えて、成長の過程を問う「どのように成長したか」を審査内容に加えました。これによって先生方の取組が、学生たちにどのように影響を与え、学生が成長するのかがよくわかることを期待しています。

（グランプリ委員会 委員長 市川純章）

2021年度に社会人基礎力に関する産官学の対話の場としてスタートした年次大会は、今年度2回目となり、200名以上方々にご参加登録いただきました。今後とも、産官学の対話を重ねながら、「社会人基礎力」の普及を目指してまいります。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。以下に開催結果をご報告します。

テーマ： 「新しい資本主義の時代に必要な社会人基礎力」

大会趣旨： 新しい資本主義の時代には、新たなアイデアやイノベーションの創出を生み出す「人的資本」の重要度が増している。企業をはじめとする組織は、「人への投資」への強化が求められる。組織が継続的に「人への投資」をするためには、人材育成、学び直しのための「リカレント教育」が必要である。そのために当協議会の推進する「人生100年時代の社会人基礎力」が、新しい資本主義の実現に向けて何ができるのか、本大会の登壇者及び参加者が対話を通してともに考えていく機会とする。

開催日時： 2022年8月5日（金）15:00-19:00（Webexによるオンラインイベント）

年次大会プログラム

分類	テーマ	ご登壇者（所属はご登壇当時）
基調講演	持続的な企業価値向上に向けた 人的資本経営	経済産業省 産業人材課長 島津 裕紀氏
	人材育成と Well-Being	慶應義塾大学 教授 前野 隆司氏
第1部 リカレント 委員会	【企業講演】 変革の時代に求められる基礎力強化の実践	(株)内田洋行 人事部長 佐藤 一直氏 (株)ウチダ人材開発センタ 取締役金子栄司氏
	【企業講演】 社員が仕事に誇りと夢を持てる会社づくり	株式会社 KSP 取締役会長 三角 武一郎氏
第2部 研究 委員会	【研究発表】 企業の社員育成現場におけるギャップ	株式会社埼玉新聞事業社 代表取締役社長 浅沼 禎一郎氏
	【研究発表】 デジタル社会における経営戦略	学校法人城西大学総務局長 東 吉信氏
第3部 グランプリ 委員会	【事例発表】 苫小牧工業高専における「社会人基礎力」の育成と今後	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 フロンティアコース 佐藤 奈々恵先生
	【事例発表】 『自主性』を尊重したプロジェクト支援の利点と欠点	福山大学 大学教育センター 前田 吉広先生

ご参加者アンケート結果

年次大会ご参加者向けに行ったアンケートによると、参加動機は基調講演が最も多く、77%が回答されています。次いで、企業講演、研究発表、事例発表の順です。実際に参加した満足度を見ると、不参加を除くとすべてのセッションで80%程度が満足・やや満足と回答されています。開催時間が4時間と長いので、後半に行くにしたがって「不参加」が増加しておりますが、開催時間が4時間と長いことが影響しているかもしれません。来年度は各セッションの独立性を高め途中参加を促す策も勘案の上検討いたします。

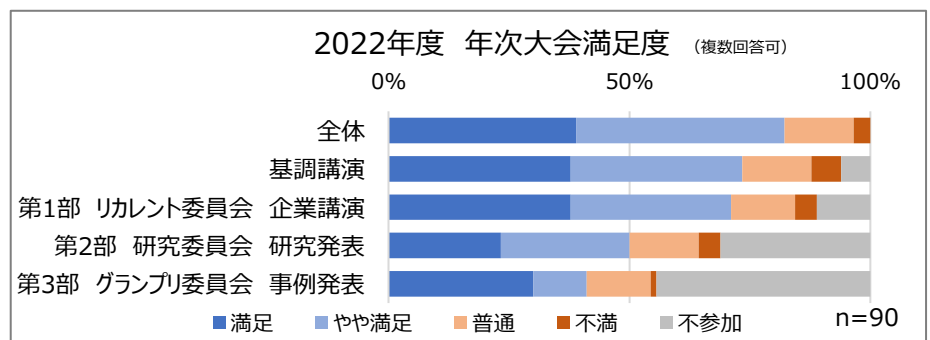
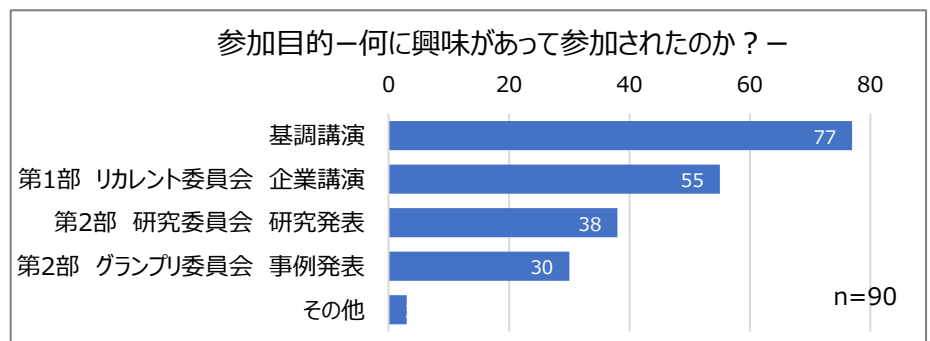
基調講演、企業の取り組み事例、大学など教育現場における事例と、幅広い話が聞けた点は高評価のコメントをいただきました。
<主なコメント>

- 人への投資、人財への配慮は今後ますます具体的な事例が重要になると思います。こういった取り組みは非常に重要と考えます。
- 基調講演、研究発表、グランプリ事例を聞かせていただき、社会人基礎力という観点に関して、様々な視点から見た情報が詰まっており、得るものが多い大会でした。
- 社会人基礎力として、経産省、中小企業それぞれの立場での講演は非常にありがたく、社会人大学院として、カリキュラム構築にたいへん参考となった。講演者の説明も説得力があり、吸収したものを大きかったです。
- どのお話も興味深かったです。前田先生の幸福学、KSP会長のご講演で社員の幸せなどを伺うと、大学教育は学生の幸せが第一だと思いますが、同時に、職員、教員の幸せについても考えることの大切さも感じました。それを考えることも学生へ教育に重要と思えたからです。

今後に向けて

来年度も様々な視点から社会人基礎力強化に関するヒントが得られるように、幅広い事例を取り上げます。「こういう事例が聞きたい」「こういう点で困っている」など、ご意見ご要望がありましたら、ぜひ4ページ目にある事務局メールまでお知らせください。

（2022年次大会実行委員長 渡邊明男）



9月29日、共栄大学国際経営学部において、リーダー育成講座が開催されました。

国際経営学部はビジネスリーダー・観光ビジネス・スポーツ健康ビジネスの3つのコースからなる学部です。中でもビジネスリーダーコースは、幅広いビジネスの知識と実践力を身につけること、体験することでリアルなビジネスを知ること、相手にわかりやすく伝える力を育むことを掲げており、社会人基礎力の学びと強くリンクしていることから本講座が実現しました。

ペルソナマーケティングで社会人基礎力を学ぶ

講座のスタートでは、参加する学生が自ら「ペルソナ」を設定します。

これは経営学で使われるペルソナマーケティング手法で、「商品やサービスを使用する架空の人物像」のことです。実在の人物かのような詳細な設定を作り上げておくことで、経営戦略が立てやすく方向性がイメージしやすくなり、具体的な施策を立てられるようになります。

今回参加した学生は3年生、4年生の30名です。就職活動を進めていることから、社会での活躍も想定できた様子でした。国際ビジネスを指導している石塚教授は、今後、更にコミュニケーションに関する演習を取り入れていきたいと語っておられました。



(研究委員会 委員長 栗田るみ子)

4 研究委員会イベント報告「デジタル社会と企業の価値創造に対する支援」

10月の勉強会は、10月25日に開催されました。

今回参加した15名は、日本で大学院の進学を目指す留学生や、博士課程で教育学を学ぶ学生など、国際色豊かなメンバーです。話し合いの場を多くとることを目標としたため、「あみだくじ」で席を決定しました。

日本ではなじみ深い「あみだくじ」ですが、思いがけなく、とてもいいアイスブレイクになり、和やかな勉強会のスタートを切ることができました。

デジタル社会と企業の価値創造に対する支援とは

城西大学総務局長の東良信先生を講師に迎え、上記テーマでお話をいただきました。デジタル社会では価値の創造が重要視され、外部の多様な集団とつながり新しい価値が創造される仕組みが必要であり、「オープンイノベーション」を支える仕組みを考えようと参加者に問いかけ、特に今回は、下記の4要素を取り上げてのディスカッションでした。

1. テクノロジーを活用した価値の創造
2. 産学官の資金やモチベーションが循環する仕組み
3. 新ビジネスを立ち上げる環境と顧客体験を獲得する意欲
4. データプラットフォームの存在

講座を通じて、受講者からは、創造性を高めるためには、常に学び続ける姿勢が大事だと意見も出ていました。

(研究委員会 委員長 栗田るみ子)



5 リカレント委員会 22年度活動状況

「新しい資本主義」の時代とリカレント委員会

令和4年8月30日内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局より、「人的資本可視化指針」が発表されました。今後は、企業価値向上のために人的資本経営が求められ、その情報開示が大切になる。また、10月4日岸田総理は、総理大臣官邸で第10回新しい資本主義実現会議後の記者会見にて、リスクの重要性に触れ政府の1兆円の投資計画を説明しました。

当協議会のリカレント委員会は、「新しい資本主義」の時代における企業の人的資本経営の実践事例や、教育機関による社会人基礎力育成の好事例紹介、およびリカレント教育実践者の講演を継続して行っています。

主な活動実績と今後のスケジュール

偶数月開催の6回の勉強会（4月、6月、8月、10月、12月、2月）を実施中です。8月は年次大会を開催しました。

4月23日： フォーラム&勉強会 一般社団法人HRテクノロジーコンソーシアム 代表理事 香川憲昭氏

6月25日： フォーラム&勉強会 拓殖大学大学院 後期博士課程（社会人入学） 横沢泰志氏

10月22日： フォーラム&勉強会 株式会社OACD 代表取締役 榎並重人氏

12月17日： フォーラム&勉強会 株式会社アイズプラス 代表取締役 池照佳代氏

2月25日： フォーラム&勉強会 未定（企業の取り組み事例紹介、または、リカレント教育実践者のご講演予定）

(リカレント委員会 委員長 渡邊明男)

2022年7月～9月に長野県の高校生を対象とした社会人基礎力育成プロジェクト「シャキソ・クエスト」に本協議会が協力しました。「シャキソ・クエスト」は、高校生が長野の魅力を発掘、調査、プレゼンテーションを通じて、「社会人基礎力」を身につけ、社会への第一歩を踏み出してもらうためのプロジェクトです。

2021年度の準備段階から、本協議会が関わり、第1回のオリエンテーション（7月31日）にて「社会人基礎力」の重要性をレクチャー、日経HRが開発した「社会人基礎力診断・高校生版」を参加高校生に受検してもらい、自分の「社会人基礎力」を知ることからプロジェクトがスタートしました。信濃毎日新聞の取材が入り、翌日の朝刊にてオリエンテーションの様子が報道されました。

中間報告会（8月21日）では、参加高校生が製作した長野の魅力を伝える動画が披露されました。本協議会から2名が参加、動画製作における苦労や工夫が伝わってきました。この時点でも参加高校生の成長には目を見張るものがありました。さらによりプレゼンテーションになるよう、長野青年会議所の方々とともに、アドバイスをを行いました。

最終報告会となるプレゼンコンテスト（9月3日）は、プロの司会者の進行で始まり、緊張感あふれる発表会となりました。どのチームの発表も素晴らしく、高校生ならではの新鮮な視点と、さらなる成長に感激しました。審査員長という大役を拝命し、審査は難航しました。コンテストである以上、「受賞」に順位はつきましたが、どのチームも成長した「価値」に順位はありません。「社会人基礎力育成グランプリ」高校生版の意義を感じ、実施の可能性に向けて考えていきたいと思います。

参加くださった高校生の皆さん、ご指導の先生方、長野青年会議所の皆様、関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。
（代表理事 長尾素子）



写真提供：長野青年会議所

7 協議会機関誌「社会人基礎力研究」投稿論文募集 締切迫る！

事務局・研究委員会

社会人基礎力に関する研究活動を広く世に問うことを目的として年1回発行している機関誌『社会人基礎力研究』は、現在論文募集中です。会員の皆様からの研究論文、研究ノート、事例報告、評論などの寄稿をお待ちしております。詳しくは下記QRコードから募集案内をご覧ください。よろしくお願ひ申し上げます。

- 投稿資格： 原則会員（共著の場合は執筆者に1名以上会員が含まれること）
会員以外からの招聘論文、寄稿文は会員の推薦をもって認める
- 原稿分類： 研究論文、研究ノート、事例報告、評論、その他
投稿文は社会人基礎力またはそれに関連するテーマとする
- 提出方法： 社会人基礎力協議会研究委員会にメールにて提出 kenkyu@biz100.org
件名に「機関誌投稿原稿」、メール内容に氏名、所属、電子メールアドレスを記載すること
受付終了の返信をもって提出完了とする
- 締切日時： 2022年12月2日17時まで
- 問合せ先： 社会人基礎力協議会 研究委員会 委員長 栗田るみ子 kurita@josai.ac.jp
（研究委員会 委員長 栗田るみ子）



編集後記



ニュースレターへのご意見・ご要望募集

2022年度 社会人基礎力育成グランプリのエントリーが受付開始となり、今年度の協議会活動も後半に突入いたしました。多くのチームのエントリーをお待ちしております！このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていきます。会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願ひ申し上げます。

（担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅）